

# ハンドボール

No. 42



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. C#  
(16名用)

スローオフチーム 東京都

A	大分県	東京都	B
合計	18	22	合計

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技会		
H 24年 10月 5日 (金)	場所	高山市立中山中学校	
種別	少年	男・女	回戦 第1回戦 準決 決 リーグ

A 梶原 健 7m TC 石川 浩和 B

A	大分県	警告	退場	失格	チームタイムアウト					
					前半	後半				
役員A	梶原 健				22	31				
役員B	島村 浩信									
役員C	瀧村 泰昭									
役員D	佐々木 隆成									
1	塩崎 瑛美									
2	佐藤 亜佑美									
3	足立 佳菜子									
4	高司 美雅									
5	石川 紗衣			F	T	5				
6	坂本 恵瑠菜									
7	江藤 美佳			T		3				
8	神田 郁典			T		2				
9	川上 ちなみ				T	2				
10	藤合 美里									
11	後藤 亜美					5				
12	川上 由希子									
合計					1	1	7	11	年	18

B	東京都	警告	退場	失格	チームタイムアウト					
					前半	後半				
役員A	石川 浩和				28	00				
役員B	佐藤 誠司									
役員C	梶山 昌寛									
役員D	中藤 希沙									
1	金丸 明菜									
2	岸 梨花									
3	信太 香佳				T	2				
4	三田 未稀				F	5				
5	小高 怜美									
6	山本 薫									
7	角和 愛理									
8	三橋 未来				T	3				
9	三ノ 愛美香				T	3				
10	安藤 万衣子									
11	河原畑 京子									
12	中田 純恵									
合計					2		12	10	年	22

タイムキーパー 青木 俊介 スコアラー 山田 沙那

A	前半	B	A	後半	B	
						背番
7	1	5	11	8	0	
		6		9	2	
		8		10	6	
		9		11	8	
8	2	10	9	10	6	
		10		11	8	
8	3	11	5	11	8	
		11		12	13	
5	4	13	11	13	15	
		14		14	18	
		14		15	20	
5	0	15	4	16	22	
		17		17	25	
7	6	19	7	18	28	
5	W	19	9	19	31	
		20		20	34	
		22		21	40	
		25		22	46	
		26		23	52	
		27		24	57	
		28		25	62	
5	7	28	5	26	68	
		46		27	73	
				28	78	
				29	83	
				30	88	
				31	93	
				32	98	
				33	103	
				34	108	
				35	113	
				36	118	
				37	123	
				38	128	
				39	133	
				40	138	
				41	143	
				42	148	
				43	153	
				44	158	
				45	163	
				46	168	
				47	173	
				48	178	
				49	183	
				50	188	

特記事項

## ハンドボール 結果報告

No 43

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日 (金)	試合記号	Cキ	回戦	1回戦
種別	少年女子	会場	高山市立中山中学校体育館		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
大分県			東京都		
得点合計	小計		小計		
18	7	前半	12	22	
	11	後半	10		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

## 【 戦 評 】

記載者氏名

中島 瑛介

東京のスローオフで試合開始。序盤、初戦の緊張からか、お互いのオフェンスでのミスが続きなかなか得点できない。そんな中、東京都8番三橋がカットインで先制点をあげる。対する大分は7番江藤が速攻で取り返す。その後、東京が5番小高、8番三橋、11番河原畑の3連続得点で4-1とリードする。やや高めに位置する東京のディフェンスに対し、大分はポストの8番神田にボールを集め、反撃する。東京は4番三田のミドルがよく決まり、一進一退の攻防となる。22分過ぎに東京4点リードになったところで大分がタイムアウトを申請し立て直しをはかるが、直後に東京2番岸が7mスローを決める。東京は5点リードを守ったまま前半を折り返した。後半開始から、大分は4番三田をマンツーマンでディフェンスする。さらに、大分11番後藤がサイドシュートをたて続けに決め、追いつがる。しかし、東京は1番金丸のスーパーセーブや、9番シンのポストなど一人一人が仕事をし、22対18で東京が勝利した。